

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

236号



2021年5月25日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 第三回口頭弁論

5月12日(水) 15:00から東京地裁103号法廷で、羽田空港新ルート設定の取り消し訴訟の第3回目の口頭弁論が開かれました。

今回も傍聴は抽選となり、漏れた人にはコロナ禍の事も考慮し、報告集会がオンラインで20時から2時間ほど行われました。

例の如く文書でのやりとりが主なので、原告・被告の口頭でのやりとりは殆どありませんが、被告の嫌がっている原告側の意見陳述を裁判官は黙認のようです。

今回は品川区のMさんが制限された5分ほどの時間で陳述を行いました。

Mさんは37年もの品川区在住者ですが、今頭上450mを飛行機が通過していく状況になっています。騒音の不快感もさることながら、落下物の危険やこの事態が決定され、減便の今も継続されていることの不条理に納得できないと言います。特に心を打たれたのは「家庭内で笑いが消えている」という言葉です。

この問題に関わった人なら誰でもMさんと同じ「怒りと悲しみ」を感じているはずです。

次回は9月22日(水) 15:00 103号法廷
ぜひ傍聴して見てください。

○ 落下物の1例

2017年9月、羽田を離陸直後のJALがエンジントラブルで引き返し、滑走路に破断したブレードが大量にばらまかれました。数分・数秒の差で、今なら都心の人々が惨事に見舞われることになるのです。恐ろしいではありませんか。

○ 石井幹子さんのTV出演

照明デザイナーの石井幹子さんが「徹子の部屋」に出演します。

テレビ朝日 「徹子の部屋」5月26日(水)
13:00~13:30

4月3日(土)のテレビ東京系「新・美の巨人たち」春の東京アートウオーク『勝鬃橋』

4月16日(金)9:00~10:30NHKBS 「世界・我が心の旅 フィンランド光の夢」

もありました。お知らせの時期がうまくいか無かったのが残念です。「徹子の部屋」が間に合えば良いのですが…

○ いたばしの空を守る会 街頭活動や陳情も

いたばしの空を守る会は政党にとらわれない自由な市民の会で、都心低空飛行問題について陳情や街頭での反対運動などを行っています。

○ コロナとオリンピック バッハもコーチも自分勝手

アメリカも日本への渡航禁止勧告したくらいです。アメリカは日本でのワクチン接種の遅れやインド株を主とする変異株への対応を懸念して、151の国と地域に発している渡航警戒レベルについて日本をレベル4に引き上げました。オリンピックまで2ヶ月を切った日本の感染状況を重く受け止めているそうです。当然でしょう。

しかし、IOCのバッハ氏もコーチ氏も日本人の8割近くがオリパラ中止か延期という意見であることを一顧だにしません。私たちはそんなにお人好しだと思われているのでしょうか。

ワクチン接種予約騒動

行きつけの医院・診療所が有利

板橋区では新型コロナウイルスのワクチン接種について、七五歳以上の高齢者を対象に、五月十日九時から予約受付が始まりました。

案の定、スマホやインターネットでの予約はあつという間に一杯となり、電話は何時間もつながらないうちに予約数がなくなってしまうたようでした。

常盤台には個人経営の医院・診療所が多くあります。これは分譲当時から、住宅地での経営を医院に限って許可していたからと言われています。大規模の接種会場は絶望的でしたが、こういう個人の診療所があつてラッキーだと思います。

三代にわたる昔からの医院では、大勢の患者がいるため、診察券のある人しか受け付けられない所もありましたが、多くの医院・診療所が協力して、初診の人も受け付けてくれたようです。ファイザー社のワクチンで、三週間後の二回目の予約も同時にできたのは適切でした。

新宿区や他の地区では、一回目を接種した後で、またまた今回のような予約騒ぎをしなければならぬと不安を抱いているようです。

年寄りにはスマホやパソコンの早い者勝ちという方法が適切とは思えません。身近に手助けしてくれる若い人がいない場合は、本当に困ったことでしょう。

一回目より、二回目の接種の方が副作用が強いそうで、三十八度以上の発熱のためのアセトアミノフェンを用意しておく方が良いそうです。

身近でのコロナ

常盤台外科病院に聞く

上記のように常盤台にはかなりの数の医院・診療所がありますが、総合病院でかつ救急病院としては常盤台外科病院があります。

TVで医療崩壊などを見ると心配になるので事務部長のIさんにお話を伺ってきました。

常盤台外科病院としては、新型コロナウイルス対策としては、後方支援の役割で頑張っているそうです。発熱外来で疑いの或る人は、一般の患者さんと区別して別棟でPCR検査をし、陽性の結果であれば保健所の指示で、コロナ患者を受け入れている豊島病院などへ転送、逆に治療が終って回復期に入った患者を引き受けています。そのため病床は九十九床のうち四床が当てられているそうです。

ある常盤台住民は保健所の指示でなんと曳舟病院に入院中です。常盤台住民としては、たとえコロナに感染しても、こんなに近くの病院に入れたら、と思っていたのですが、必ずしもコロナについては希望通りにならないようです。が、身近に救急の総合病院があるということは私たちに安心感を与えてくれます。

コロナの猛威の影響は普通の診療を圧迫し、医療従事者も一般の患者も影響を受けていることは事実です。先ずはかからないように最大限の注意を払って生活することで、予防するほかはありません。



常盤台公園のはなづくり

バラが一斉に枯れてしまった、と思ったから、バラと柵の撤去を求められたTさんが根元を切って、作業しやすいように枯らしていたのでした。

カミキリムシが新しい病気がかと思いましたが、原因が解つて一安心。一株、深紅のバラが新芽を沢山出しているのので、どこかに移植を考え中です。

チャドクガの害が広がっているようです。サザンカ・椿の類を持っている人はご注意ください。去年はあまり見かけなかったのですが…

季節が前倒しになっています。花の時期も早く来て、あつという間に散つて行ってしまいます。楽しい期間が短くなったような気がするのはいずれでしょうか。

それでも青葉の季節、水分もたっぷり日光も程よく、爽やかな風を感じるこのごろは、木々の緑もいきいきとしています。もう少し経つと酷暑の日々が続き、人間はちろん、植物も青息吐息となり、枯れて死ぬものも出るわけです。

地球温暖化を阻止するために、色々な試みが始まっているようですが、私たちにできることを探して、身近なことからも実行しなければなりません。とりあえず今年の酷暑をなるべく電力を使わずに乗り切る方法は？かといってエアコン使用をケチると熱中症になってしまうし…

